

# 令和3年度 硬式テニス部

～仲間の1勝はみんなの1勝～



## 《年間結果報告》

### 男子



高校総体 団体 ベスト16

高校選手権 団体 7位

新人戦 団体 6位

### 女子



高校総体 団体 3位

高校選手権 団体 3位

## 【部員】

### 男子

- <115期生> 奥野宏翔、山本悠人（倉田山） 小瀬古雄貴、和田響（浜島）  
世古口玲麻、村田雄飛（明和） 竹内八雲（志摩） 中川裕喜（五十鈴）  
中世古翔（度会） 西出幸生（多気）
- <116期生> 細川出穂（宮川）、福島翔龍（倉田山）、新井佑音、林 陸斗（二見）  
西 琉雅（港）、畑 雅斗（伊勢宮川）、中西優陽（度会）
- <117期生> 西川将太（加茂）、本村優登（港）、柏木慈恵（殿町）、宮林洸介（厚生）  
松本 陸（志摩）、川上慶人、別所 蓮（小俣）

### 女子

- <115期生> 井村春翔（加茂）、野村聖来（志摩）、田中優衣、中村心咲（二見）、増川友梨（厚生）  
井村杏奈、山口裕喜（城田）、玉木音々（磯部）、中村淑乃（伊勢宮川）  
柴山ひなた（鳥羽東）、橋爪 優（文岡）
- <116期生> 玉木菜桜（磯部）、飯尾百香（東部）、野瀬 花（厚生）、山本夏凜（玉城）  
浜崎光梨（加茂）、山本真穂（南郊）、阿部真衣佳（小俣：マネージャー）
- <117期生> 片岡紗彩（御菌）、林 舞乃、世古七羽（小俣）、福間咲智（大王）、  
堀本桃子（伊勢宮川）、山口奈緒（度会）、小池桃子（城田）、廣 花簾（磯部）

# ～活動実績～

## 《 男子 》

### ◎ 高校総体

・男子団体戦                      バスト16（シングルス2本、ダブルス1本での対戦）

2回戦 対 白子高校                      3-2 勝利

3回戦 対 四日市工業高校              0-3 敗退

・男子シングルス

バスト64 中世古翔、細川出穂、福島翔龍、柏木慈恵

・男子ダブルス

バスト16 奥野・世古口 組

32 細川・中世古 組

### ◎ 高校選手権

・男子団体戦                      **7** 位（シングルス2本、ダブルス1本での対戦）

2回戦 対 近大高専高校                      3-0 勝利

3回戦 対 津西高校                      2-1 勝利

4回戦 対 四日市工業高校                  0-2 敗退

5～8位決定戦 対 桑名高校                  0-2 敗退

7, 8位決定戦 対 津高校                      2-1 勝利

・男子シングルス（1, 2年生の部）

バスト64 新井佑音、中西優陽、柏木慈恵

### ◎ 新人戦

・男子団体戦                      **6** 位（シングルス3本、ダブルス2本での対戦）

2回戦 対 四日市四郷高校                      5-0 勝利

3回戦 対 鈴鹿高校                      5-0 勝利

4回戦 対 津田学園                      0-3 敗退

5～8位決定戦 対 桑名高校                  3-1 勝利

5, 6位決定戦 対 四日市高校                  1-3 敗退

・男子シングルス

バスト32 柏木慈恵

バスト64 新井佑音、中西優陽、福島翔龍、細川出穂

・男子ダブルス

バスト32 柏木・中西 組、福島・畑 組、

# 《 女子 》

## ○ 高校総体

### ・女子団体戦

# 3位

1回戦	対	津高校	3-0	勝利
2回戦	対	桑名西高校	2-1	敗退
3回戦	対	四日市南高校	2-1	敗退
準決勝	対	四日市商業高校	0-3	敗退
3位決定戦	対	伊勢高校	2-0	勝利
2位決定戦	対	津商業高校	0-2	敗退

### ・女子シングルス

ベスト32

野村聖来、中村淑乃、飯尾百香、山本真穂

ベスト64

井村春翔、山本夏凜

### ・女子ダブルス

ベスト8 中村淑・野村 組

ベスト16 飯尾・山本真 組、浜崎・山本夏 組

ベスト32 橋爪・山口 組、増川・玉木 組

## ○ 高校選手権

### ・女子団体戦

# 3位

2回戦	対	鈴鹿高専高校	3-0	勝利
3回戦	対	桑名西高校	2-1	勝利
準決勝	対	津商業高校	0-2	敗退
3位決定戦	対	四日市南高校	2-1	勝利

### ・女子シングルス（1，2年生の部）

ベスト16 飯尾百香、山本真穂

ベスト64 野瀬 花

## ○ 新人戦

### ・女子団体戦

2回戦	対	四日市高校	2-3	敗退
-----	---	-------	-----	----

### ・女子シングルス

ベスト16 飯尾百香

ベスト32 山本夏凜、玉木菜桜

ベスト64 山本真穂、小池桃子、山口奈緒、浜崎光梨

・女子ダブルス

ベスト8 飯尾・山本真 組

ベスト16 浜崎・山本夏 組

ベスト32 野瀬・玉木 組

○ 冬季ジュニアチャレンジ大会

3位 山本夏凜

ベスト8 野瀬 花

～各大会・思い出のヒトコマ～

～部結成～



～高校総体～





～二見海水浴場にて～



～男子合宿～



～男女滋賀遠征～



# ～高校選手権～







～新人戦～



～女子滋賀遠征～



～あれこれ～



～児玉先生・咲良先生 さよならセレモニー～



～三送会・卒業式～



## 【概要】

コロナ禍2年目。相変わらず、様々な面で活動が制限される中、今年度も元野球部やソフトテニス経験者、念願の硬式経験者を含む男子は7名、女子は8名の元気な1年生を加えスタートした。

高校総体は、男子はシードを落として以来、なかなか対戦相手が厳しい状況が続き、今回もベスト8進出をかけた四日市工業と戦うドロートとなった。中学校では元吹奏楽部 世古口、元バスケット部 中世古、ソフトテニス部 奥野がチームを引っ張り、初戦は勝ち上がり、四日市工業にチャレンジすることとなった。全国有数の強豪校に向かっていく姿勢は、この大会が引退となる3年生にとって、自分達の歩んできた道の集大成となる戦いとなった。もちろん、勝ち進みたいという気持ちからの悔しさは残ったものの、最強チームと最後の戦いを終えた3年生はどこか清々しい引退となった。

女子は昨年度の新人戦で3位となり、惜しくも東海大会を逃した。この高校総体で悲願の東海大会（2位以内）を目指して、長い冬を乗り越え練習に取り組み臨んだこの大会。1回戦から苦しい戦いが続く中、チーム一丸で1ポイント1ポイントを積み重ね、ダブルス・シングルスとも組み替えながら総力戦で2位決定戦の津商業にまでたどり着いた。新人戦のリベンジを果たすと臨んだ戦いだったが、ダブルス・シングルスとも善戦はしたものの、またもや津商業の前に涙を飲んだ。東海大会に1歩及ばずの3位となった。落胆するチーム、先輩とともに東海大会に出場をと願った2年生エースの目は涙でいっぱいだった。そんな中、キャプテンでチームの大黒柱の野村の目には涙はなかった。最後の集合(ミーティング)でも、「私たちは3位をとったんやよ。こんなすごいことをみんなで達成できたことが、本当に嬉しいし、誇らしい」と結んでくれた。全国強豪の四日市商業を筆頭に高いレベルの三重県で、3位の結果は本当に誇らしい結果である。男女3年生全員が、自分の歩んできたテニス部の日々を誇りを持つことができた大会となった。

新チームとなり、男子はシード権奪取、女子は目指せ東海を合い言葉に熱い夏を迎えた。合宿、練習試合、練習会を重ね目標達成に向け、灼熱の太陽の下練習に明け暮れた。高校選手権団体を迎え、男子は燃え尽ききれなかった3年生中世古、奥野が残り、1年生も柏木が少しずつ高校テニスに対応をみせる中、悲願のシード権奪取を果たすことができた。女子は大黒柱の野村・中村組は引退してしまっただが、エース飯尾、山本真を中心に今度こそは2位以上を目指し臨んだ高校選手権団体戦。しかし三度、津商業の壁を越えることができなかった

さあ、新人戦に向けてと練習のスタート切った途端、直前の練習を1ヶ月コロナに阻まれた。今度こそ、女子は悲願の東海に、男子はシード順位を上げるという目標の下、各自、自宅でできる限りの調整を行なった。実践練習がほとんど行えない中、新人戦の団体の日がやってきた。女子はこれぞ空回りという空気感で、会場の雰囲気にも部員みんなの意気込みが吸い取られるようにまさかの初戦敗退。この新人戦はシングルス3本、ダブルス2本という、山商のチーム力を発揮できる最大のチャンスとなる大会であっただけに「まさか・・・」の衝撃はあまりにも大きかった。泣きじゃくる生徒に掛ける言葉を見つけられなかった。このまま、女子は這い上がることができるだろうか……。当然、男子の中にも衝撃は走った。今こそ女子の分までと男子のパフォーマンスが上がったことは、山商の誇れる男女一丸のチーム力の高さを感じ取ることができた。その結果、男子は高校選手権を上回る団体6位入賞を果たすことができた。決して、女子の落胆がすべて救われた訳ではないが、男女ともに長い冬を練習していく山商テニス部にとって、この男子の6位入賞のおかげで、女子の令和4年度の飛躍につながる大きな頑張りであったことは間違いなかった。

その後の冬のテニス協会の大会では、新人戦のショックから這い上がろうと、女子達は県上位入賞を果たした。少しずつ、春が近づく中で、最後の高校総体に向けチームがもう一度走り出していく様子に、彼女たちの逞しさを感じた。

そんな中、長年テニス部を支えて頂いた、児玉先生、岡村先生、筒井先生が山商を去ることが決まった。生徒達はもちろんのこと、いちばんの衝撃は私に走った。子ども達のために、時間と労力を惜しまず、それぞれの素晴らしいお人柄で子ども達の成長のために尽力頂いたこと、改めて感謝いたします。

3月を迎え、何かとお騒がせ、個性派揃いの男子10人と心優しき女子11人の卒業の時が来た。男子は硬式テニスどころかソフトテニス経験者もほとんど居ない10人。しかし、これまでのどの学年よりも上達した学年であった。もちろん、個性豊かな面でもこれまでのどの学年よりも私を楽しませてくれた学年だった。女子11人は心優しく、絶えず周囲に気を配ることができるメンバー。11人という大人数でありながら、まとまりを感

じさせてくれる学年。出来る事ならコロナに邪魔されず、思いっきり山商テニス部を満喫させてあげたかったと後悔は尽きない。コロナ禍で精一杯仲間を思い、夢を追いかけ、努力を惜しまなかった21人を誇りに思う。コロナ禍で君たちが繋いでくれた絆は、令和5年にしっかりと花開かせますね！ ありがとね！

## ～中学生の皆さんへ～



### 仲間の1勝はみんなの1勝

個人競技に思われるテニスですが、一人一人がバラバラでは、個人の勝利も団体戦の勝利も勝ち取ることができません。部員みんなに対する思いやり、支えてくださる家族に対する感謝の気持ちをテニスを通じ育ててほしいと思います。

嫌々テニスを練習していても上達しません。テニスコートに行くことが楽しみで、みんなと練習している時間が、毎日の中で一番充実した時間になるよう顧問・先輩たちは頑張っています。

山商テニス部と一緒に青春しましょう！

#### (設備)

山商のテニスコートはなんと6面もあります。ですから、入部当初からボールを使っての練習に参加できます。県下でも珍しいハードコートが2面、クレーコートが4面あります。さらには、全コート照明も完備されています。日照時間が短くなる秋、冬にかけてもテニスコートを使って練習ができます。

#### (活動内容)

練習時間 平日 15:50～18:30

休日 8:30～12:30

※ 休日には練習試合・大会が入ることが多いです。

※ 週に1度は休息日を設けてあります。